

たきがはらあーちいしばしぐん
滝ヶ原アーチ石橋群

種 別 小松市指定文化財 建造物
指定年月日 平成21年11月3日
所在地 滝ヶ原町

滝ヶ原アーチ石橋群は、滝ヶ原地内を流れる宇谷川とその支流である西口川に架かる石橋群である。堅牢・良質な滝ヶ原石を用いて地元石工たちにより建設され、架橋年代は明治後期から昭和初期とされている。かつて「滝ヶ原7か村」と呼ばれていた頃から農林業や各村間の行き来など、地域住民の生業・生活に密着するかたちで利用されてきた。

滝ヶ原地内にかつて11橋あった石橋は、現在では5橋を残すのみとなったが、全国的に見て石橋の現存が乏しい本州で5橋が集中して残されていることは極めて貴重である。県内でも、滝ヶ原のように石橋が山間の自然河川に残されている例は他になく、周辺の自然環境と一体をなす優れた文化的景観を形成している。



ひがしぐちばし
東口橋



がやまばし
がやま橋



だいもんばし
大門橋



にしやまばし
西山橋



まるたけばし
丸竹橋